令和５年度 ｢防災ラジオドラマ｣作文コンテスト募集要項

　徳島県、徳島大学環境防災研究センター及び株式会社エフエム徳島の３者で構成する｢防災ラジオドラマ｣政策実行委員会では、徳島県が推進する防災施策のさらなる普及啓発を目的として、次代を担う小･中学生に防災（地震・津波災害に限定）についての理解と関心を深めてもらうために｢防災ラジオドラマ｣作文コンテストを実施します。

　優秀な作品には賞状及び記念品を贈呈します。さらに、知事賞の作品はラジオドラマ化し、エフエム徳島で別途制作する特別番組等で放送します。

　県内の小学生・中学生の皆さんからのご応募をお待ちしています。

１　募集対象

　徳島県内の小・中学校生徒

２　募集期間

令和５年７月３日（月）～９月５日（火）

３　送り先

　所属の小・中学校を通じて、下記送付先まで提出して下さい。

　（送付先）

　〒770-8570

徳島県徳島市万代町1丁目1番地

　　徳島県 危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課 事前復興室 事前復興担当

　　電　話：088-621-2107

　メール：makimoto\_kazuya\_1@pref.tokushima.jp

４　問い合わせ先

｢防災ラジオドラマ｣制作実行委員会事務局（株式会社エフエム徳島内）

浜野　里奈

　電　話：088－656－2111

　メール：oubo-r5＠fmradiodrama.com

５　文字数

　４００字詰め原稿用紙で

　・小学生は２枚程度（800字）

　・中学生は３～４枚程度（1,200～1,600字）

作文冒頭に、表題、応募者の学校名、学年、氏名及びふりがなを明記して下さい。

６　テーマ

防災（地震・津波災害に限定）に関する作文（物語）

　例えば、

　●学校で避難について勉強中、ふざけていて先生に叱られた。その日の夜、地震が…！

　●おばあちゃんちで地震が来た！僕は妹とどうやって家に帰ろう！？

７　入賞・入選

　小学生・中学生それぞれの部門毎に

　　＜知事賞（最優秀賞）＞　　１作品（賞状・図書カード５千円）

　　＜優秀賞＞　　　　　　　　２作品（賞状・図書カード３千円）

　　＜入賞＞　　　　　　　　　５作品（賞状・記念品）

８　審査委員

○　北阪　昌人　氏（脚本家）

・日本放送作家協会会員、日本脚本家連盟会員

　　＜主な活動＞

　 ・『NISSAN　あ、安部礼司』脚本（TOKYO-FM　2006/4～）

　　・鳴門第九アジア初演100周年記念企画　ドキュメンタリードラマ『歓喜の歌が響く街～第九の里・徳島県鳴門市の奇跡』脚本（エフエム徳島・TOKYO-FM　2018/3）

　　　＊平成30年ギャラクシー賞、日本民間放送連盟賞ラジオ教養番組・優秀賞受賞

　　・ラジオドラマ「青春アドベンチャー」脚本・脚色（NHK-ＦＭ　多数）

　　・ラジオドラマ「ＦＭシアター」脚本（NHK-FM　多数）

　　・ドラマ「となりのマサラ」脚本（NHK福岡）

　　　＊国際ドラマフェスティバルin TOKYO　東京ドラマアワード部門

ローカル・ドラマ賞　受賞　他、多数

○　向井　康介　氏（脚本家・徳島県出身）

　　＜主な活動＞

　　・ドラマ「蒼井優×4つの嘘　カムフラージュ」脚本（WOWOW　2008）

　　・映画「陽だまりの彼女」脚本（2013）

　　・映画「愚行録」脚本（2017）

　・映画 「マイ・ブロークン・マリコ」（2022年）

　・映画「ある男」（2022年）

　　※第46回日本アカデミー賞 最優秀脚本賞受賞　他、多数

○　徳島県　危機管理環境部

○　徳島大学環境防災研究センター

○　株式会社エフエム徳島

９　結果発表・表彰

入賞作については公表するとともに、各賞とも所属小・中学校に通知します（令和５年１０月下旬予定）。また、入賞者への表彰式を開催する予定です（令和5年１１月予定）。

９　作品の放送

　＜知事賞（最優秀賞）＞の作品についてはラジオドラマ化し、エフエム徳島で別途制作する特別番組等で放送します（令和6年3月頃を予定）。

　なお、制作については、作者と相談の上補筆、改稿をさせていただくことがあります。

１０　著作権

　制作・放送されるラジオドラマの著作権は、「防災ラジオドラマ」制作実行委員会に帰属します（防災教育等、広く普及啓発に活用します）。

１１　その他注意事項

1. 応募作品は、未発表のオリジナルのものに限ります。
2. 本人以外やAIが作成した文章の応募は不可とします。
3. 応募作品は返却いたしません。あらかじめ写しを取っておいてください。

（４）選考に関するお問い合わせには応じられません。

（５）応募規定に違反している作品は、選考対象外となります。

（６）応募に関する個人情報は、本事業の運営に必要な範囲内で利用します。

　　　また、応募者の同意なく、本来の利用目的を越えて転用することはありません。